

神奈川県内広域水道企業団について

神奈川県内広域水道企業団 石橋 良
(令和7年度抄録委員会委員)



1 企業団の設立と役割

神奈川県内広域水道企業団は、

- (1) 水道用水の広域的有效利用を図る
- (2) 重複投資を避ける
- (3) 効率的な施設の配置及び管理を図る
- (4) 国の補助金の導入を図る

ことを目的として、構成団体（神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市）が昭和44年に共同で設立した一部事務組合です。設立以来、安全で良質な水道水をつくり、構成団体に卸売りする水道用水供給事業を運営しています。



図-1 企業団の役割

2 企業団の施設

神奈川県には、県央部を流れる相模川と県西部を流れる酒匂川という2つの大きな川があります。企業団は、相模川の水を海老名市と寒川町にある取水施設から、酒匂川の水を小田原市にある取水施設から取り入れ、県内6か所の浄水場（うち2か所は神奈川県と横浜市・横須賀市の施設）で浄水処理を行っています。こうしてつくられた水道水は、構成団体が運営する水道事業を通じて、各家庭の蛇口まで届けられています。

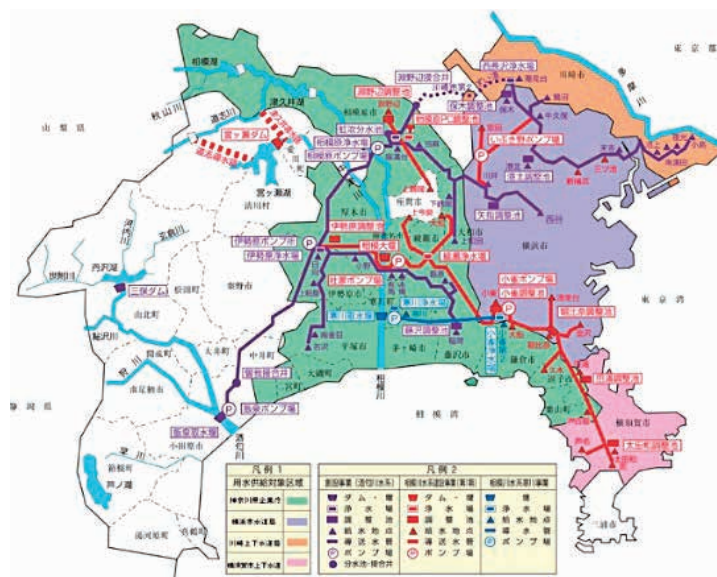


図-2 施設概要図